



ひらどだい

令和2年度 学校だより 11月号 横浜市立平戸台小学校 校長 藤巻 孝之



運動会を通して

副校長 小林 崇

「にこにこ☆エールを1か月半、みんなでれんしゅうしてきたので、本番の運動会でみんなににこにこを届けたいという思いでした。」(2年生)

「がんばったことは、3年生と一緒にペアで踊る時です。最初、3年生はうまく踊れなかったけれど、教えてあげたらどんどん上達していきました。本番では協力して上手に踊ることができて本当によかったです。」(4年生)

「3年生が、私が教えたことをしっかり覚えていたのがすごいなと思いました。」(4年生)

「5年生がどんどんソーラン節をできるようになるのを見て、ちゃんと自分が教えたことを覚えていたことがとてもうれしかった。」(6年生)

「5年生と一緒に最高のソーラン節をつくり上げられました。」(6年生)

「ソーランが初めての5年生にかっこよく踊ってもらいたかった。」(6年生)



子どもたちが書いた運動会の振り返りを読んでいると、上記のような文に目が留まりました。これらの文はだいたい2, 4, 6年生に共通して多く見られた内容です。2, 4, 6年生はブロックの上学年として運動会の練習や本番に参加してきましたが、多くの子どもたちが「〇年生が」や「〇年生と」など、相手を基準にした視点をもち運動会を振り返っていることに驚き、成長を感じました。

これは正に校長先生から朝会や開会式で話があった「スポーツを『する』『見る』『支える』『知る』」の4つのキーワードのうちの『支える』にあたることだと思いました。2, 4, 6年生の上学年はこの『支える』経験を通して、ますます相手の気持ちを考えたり、相手を認めたりできるようになっていくことでしょう。そして、先輩たちに支えてもらった1, 3, 5年生にも思いが伝わり、平戸台小の伝統となって受け継がれていくことと思いました。

令和2年度の運動会は新しい様式の運動会になりました。PTA本部役員の皆様を始め、前日の準備に携わってくださったPTAサポーターの皆様にはたくさんのご協力をいただき感謝しております。また、保護者の皆様には、感染症対策だけでなく、当日の保護者席の譲り合いや後片付けにもご協力をいただきました。新しい様式の運動会は子どもたちと職員、そして保護者の皆様が一体となって創り上げる素敵なものとなりましたこと、本当にありがとうございました。

11月からは、4, 5年生の宿泊体験学習を始め、6年生の修学旅行、低、中学年ブロックの校外学習など学校の外にフィールドを広げての学習が続きます。スポーツ以外の場でも『する』『見る』『支える』『知る』の4つのキーワードを意識し、冒頭の文に表れたように、子どもたちの更なる成長が見られることと楽しみにしています。